

価格高騰緊急支援給付金

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、給付金を支給します。

対象者 ①2022年9月30日時点で千葉市に住民登録があり、世帯全員の2022年度分の住民税均等割が非課税である世帯
②①のほか、申請日時点で千葉市に住民登録があり、予期せず2022年1月から12月までの収入が減少し、①の世帯と同様の事情にあると認められる世帯（家計急変世帯）
*いずれも住民税が課税されている方の扶養親族等のみからなる世帯を除く

給付額 1世帯5万円 **申請期限** 来年1月31日(火)まで

給付手続 ①対象世帯に確認書を送付し、返送を受けて支給します。2022年1月2日以降に転入した方がいる場合などは申請が必要となります。

②個別に申請が必要となります。

申請方法など詳しくは、コールセンターへご連絡いただくか、ホームページをご覧ください。保健福祉センター（若葉区は区役所）で、相談窓口も設置しています。[千葉市 価格高騰緊急支援給付金]

問市価格高騰緊急支援給付金コールセンター

☎0120-776-090（平日8:30～17:30）

耳や言葉の不自由な方

FAX245-5541 E-mail kyuhukin-suisin@city.chiba.lg.jp

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒に注意

秋から春先にかけて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒が多発します。嘔吐や下痢などの症状が特徴で、感染症の集団発生の原因となり、子どもや高齢者では重症化することがあります。

予防対策をしっかりとって、感染しないように注意しましょう。

予防対策

- 吐物や便などで汚れた場所を処理する場合は、使い捨てのマスク・手袋・ガウン（エプロン）を着用し、速やかに処理、消毒してください。消毒薬として塩素系消毒薬（次亜塩素酸ナトリウム）が有効です（ノロウイルスには消毒用アルコールは効果が低い場合が多いです）。また、処理後は、せっけんをよく泡立てて手指を洗い、流水ですすいでください。
- トイレの後や食事の前、調理をする際には、手をよく洗い、タオルは清潔なものを使用してください。
- バーベキューや餅つきなどの食品に触れるイベントでは、手をよく洗い、清潔な使い捨て手袋を使いましょう。また、吐き気、下痢、発熱などの症状がある時は、食品に触れる作業を行わないようにしましょう。
- カキなどの二枚貝は、中心部まで十分に加熱（85～90℃で90秒以上）してから食べましょう。

問感染症対策課（感染症について）☎238-9974 FAX238-9932

食品安全課（食中毒について）☎238-9935 FAX238-9936

女性相談外来

更年期症状や月経異常など、女性のさまざまな身体症状の悩みに対応するため、女性相談外来を設置しています。

詳しくは、[青葉病院 女性相談]

日時 毎月第3火曜日14:00～15:00（1人30分まで）

内容 若年層から更年期、閉経期以降まで年齢を問いません。女性医師が対応し、必要に応じて、より専門的な医療機関などへの紹介も行います。

会場 青葉病院

申込方法 前日までに電話で、青葉病院へ。

問青葉病院 ☎227-1994 FAX227-6655

子育てふれ愛フェスタ2022

「親子でふれあい、笑顔になろう！」をテーマに、子どもたちや親子と一緒に参加して楽しめるイベントを開催します。

子どもたちと一緒に楽しいひとときを過ごしませんか。

日時 11月23日(祝)10:00～16:00

会場 子ども交流館

内容 親子でわくわく！「パステルあそび」

開10:30～11:30、14:30～15:00

閉パステルという画材を粉状にして、指を使って画用紙に描いていきます。

開4～18歳の方と保護者 開各先着8組

おもしろモノづくり！「ジャンボヨーヨー」

開10:30～11:30、14:30～15:30

閉牛乳パックや風船を使い、世界に1つだけのジャンボヨーヨーを作ります。

開3～18歳の方。保護者同伴も可（1人まで）

開各先着10人

あらちゃんの「かぞくであそぼう！」

開11:00～12:00（途中休憩あり）

閉あらちゃんこと荒牧光子さんが、家族で楽しめるふれあい遊びを教えます。

開先着100人

SEOPPIの「スポーツスタッキング&ジャグリングの世界」

開15:00～16:00（途中休憩あり）

閉SEOPPIこと瀬尾剛さんによるパフォーマンスと親子体験を行います。

開先着100人（うち体験は先着20人程度）

申込方法 当日直接会場へ。各回開始30分前から受け付け

注意事項 入館には登録が必要です。就学前児は保護者同伴。

問子ども交流館 ☎202-1504 FAX202-1503

火曜日（祝・休日の場合は翌日）休館



荒牧光子さん



瀬尾剛さん

11月は乳幼児突然死症候群対策強化月間

赤ちゃんの突然死を防ぎましょう

乳幼児突然死症候群（SIDS）とは、予兆や既往歴のないまま乳幼児が死に至る、原因の分からない病気で、窒息などの事故とは異なります。SIDSの発症率が低くなるというデータがありますので、次の3つのポイントを守りましょう。

詳しくは、[千葉市 SIDS]

1歳になるまでは、寝かせるときはあおむけに寝かせましょう

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症しますが、うつぶせに寝かせたときの方がSIDSの発症率が高いということが、研究者の調査から分かっています。

医学上の理由でうつぶせ寝を勧められている場合以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。これは、睡眠中の窒息事故を防ぐ上でも有効です。

できるだけ母乳で育てましょう

母乳育児が赤ちゃんにとっていろいろな点で良いことはよく知られています。母乳で育てられている赤ちゃんの方がSIDSの発症率が低いということが、研究者の調査から分かっています。

たばこをやめましょう

たばこはSIDS発症の大きな危険因子です。妊娠中の喫煙はおなかの赤ちゃんの体重が増えにくくなり、呼吸中枢にも明らかに良くない影響を及ぼします。

妊婦自身の喫煙はもちろんのこと、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。身近な人の理解も大切ですので、日頃から喫煙者に協力を求めましょう。

問健康支援課 ☎238-9925 FAX238-9946